



みどりの子 9月号

23. 9. 1

学校教育目標

進んで学ぶ人になろう ・ 心豊かな人になろう ・ 健康な人になろう

所沢市立荒幡小学校



楽しさいっぱい 荒幡小

校長 橋本 徳邦

今日から1学期の後半が始まりました。

今年の夏は去年の夏よりは過ごしやすい日もありましたが、「節電」などいつもの夏と違うことも多かったのではないかと思います。

さて、9月から12月は子どもたちが張り切る行事がたくさんあります。

まず、運動会。そして児童会行事の「遊び集会」、開校30周年式典、校内音楽会、持久走大会などが計画されています。

子どもたちがこれらの行事をきっかけに少しでも「荒幡小って楽しい!!!」と感じられるよう、子どもたちとともに、そして、子どもたちの活動を支援していきたいと思えます。(開校記念式典の日には、子どもたちの歌声や合奏をご家庭や地域の皆様にお聞かせできる予定です。)

この夏休み中にも、毎日、東日本大震災、原発事故対応のニュースが報道されていました。

私は、3月の震災直後の卒業証書授与式の校長式辞で次のように話しました。

私達も同じ日本人として、被災地の復興のために、ともに力を尽くしていきます。しかしながら、私たちの世代では完全な復興は難しいかもしれません。復興の営みは、本日、卒業を迎えるみなさんの世代にも引き継いでもらうことになるだろうと思えます。

この思いは今も変わりません。

震災からの復旧、復興は日本人みんなが支えていかなければならないものだと思っています。この夏の節電に対する協力もその一つです。

とくに、人の「心」を守るということはきわめて重要です。根拠のないうわさ話や無用な詮索は当事者の「心」を傷つけます。(昨年、本校で生じた感染性胃腸炎のときと同様です。) 傷ついた心はなかなか癒すことができません。

今後も、ぜひ広い視野に立ち、温かな心をもって、日本人としてお互いを支え合っていく気持ちを大切にしていきたいと思えます。